

企画提案書作成要領

次の各項目について作成すること。なお、様式については任意とする。

項目		作成要領
ア. 業務遂行能力	業務体制	業務体制について、必要な経験等を有するスタッフの配置や体制を確保すること。 業務を実施するための人員体制について記載すること。
	業務遂行	本委託業務計画・想定実施スケジュールを具体的に記載すること。 業務に関する知見、ノウハウを有していることがわかるものがあれば記載すること。
	過去の実績等	過去に同種または類似の業務を実施した実績（業務概要等）について記載すること。
イ. 企画提案	共通	事業の目的、主旨を十分に踏まえた具体的で実効性の高い企画提案を行うこと。
	(1) 【イベント 1】介護の魅力啓発・広報イベント（キッズケアながさきプレイベント）の企画・運営・実施	イベント開催にかかる下記の点を示すこと。 ・ イベント実施の考え方（テーマやコンセプト等） ・ 会場・装飾等計画（会場全体及び各ブース等レイアウト） ・ イベントスケジュール ・ スタッフの配置計画等 ・ その他イベント開催に必要と考えられる計画 【イベント 2】仕事体験イベント「キッズケアながさき」の集客促進につながる工夫を示すこと。 参加者が介護の仕事の魅力を知ってもらうための工夫を示すこと。 イベントブースについては、多くの参加者が立ち寄ってもらうために工夫すること。
	(2) 【イベント 2】仕事体験イベント「キッズケアながさき」の企画・運営・実施	イベント開催にかかる下記の点を示すこと。 ・ イベント実施の考え方（テーマやコンセプト等） ・ 会場・装飾等計画（会場全体及び各ブース等レイアウト） ・ イベントスケジュール ・ スタッフの配置計画等 ・ その他イベント開催に必要と考えられる計画 仕事体験プログラム作成にかかる下記の点を示すこと。 ・ 介護事業所で働く 介護福祉士、看護師、理学療法士・作業療法士、管理栄養士・調理師の職種ごと・業務内容ごとのプログラムを作成すること。

		<p>年齢に合った難易度を設定し、興味を引くプログラムとすること。</p> <p>年齢区分は自由提案とするが、中学生等向けのプログラムについては、実際の介護現場で働く際の業務内容を取り入れるなどにより実践的なプログラムとなるよう工夫すること。</p> <p>小中学生に、より積極的に体験に参加してもらうための工夫や、仕事に対する報酬となるような参加特典または会場で使用できる通貨の支払いを行うなど、小中学生が働くことの達成感を味わい、楽しめるような企画を提案すること。</p> <p>保護者向け介護の情報発信ブースについては、多くの参加者が立ち寄ってもらうために工夫すること。</p>
	(3) イベント等の PR 及び参加者の募集	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの小中学生とその保護者の参加を促すことができるような広報物・PRの方法を具体的に示すこと。 ・参加申込の受付方法（Web サイト等）を具体的に示すこと。
ウ．提案金額		<ul style="list-style-type: none"> ・消費税及び地方消費税を含めた金額で作成すること。 ・総額に加え、経費内訳を示すこと。

上記に捉われず、条件の範囲内で自由に企画提案すること。

厳格に審査するため、企画提案書及び関係書類には、会社名など提案者が特定される情報は記載しないこと。